



ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書

- 注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
 注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	icocca (いこっか 憩家)
現在の主な活動内容・活動実績	季節の行事やワークショップ、多世代での交流事業、地域防災拠点や小学校おやじの会共催による親子防災訓練の企画、日野南カレー屋さんへの参加、社協主催の日野南お楽しみ工房への協力など
提案場所	港南区日野南6丁目
提案名 (25字以内)	コミュニティカフェの新設
提案する施設（どのような施設の提案ですか）	賃貸店舗物件（スケルトン）の店舗内の改装 ・トイレのバリアフリー化改修 ・キッチンの新設 ・前面にウッドデッキテラス席 ・授乳が出来るよう貸し切り個室にもなる畳席の新設 整備費用の概算額：約 660万円
活用イメージ（提案する施設でどのようなことを行いますか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとできるみんなの憩家をコンセプトに、軽食や昼食を提供できるカフェを経営する。また、数量限定で総菜販売も行う。 ・多世代の情報ステーションとなれるよう地域のお知らせ、催しを掲示するコーナーを設ける。 ・食べることの楽しさ、大切さを伝えられるよう、定期的に食育の講座や離乳食講座、介助食講座を開き同世代や同じ立場の人と繋がりがやすくする。また、伝統食や保存食を若い世代へ継承する講座の企画を地域の方を講師にして開き異世代に繋がりができるようにする。 ・物作りのワークショップなど、同じ目的をもって集まることで世代を問わずおしゃべりができる場をつくる。目的があることで新しい層が地域に出てきやすくなる。 ・季節の伝統行事（七夕やお月見会など）や誕生会を定期的を開催する ・小箱ショップを通して自分の作品を展示・販売する場所をつくり、交流に繋げる。 ・通所サービスBを申請し、定期的近隣の高齢者が外にでていきやすくなる環境をつくる。AEDの設置。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	<p>日野南地区は閑静な住宅街であるが、駅からの道のりは坂道が多く、車いす、ベビーカーなどでの気軽な外出や散歩が難しい。飲食店や買い物ができる場所は極端に少ない。</p> <p>港南区一高齢化が進んでおり、自治会内では民生委員や社協、老人会など多くの自助グループが活動し、地域の課題を共有しあう『日野南地域支え合いネットワーク連絡会』がある。しかし各団体とも、常設のサロンはない。</p> <p>近年、若い世代が転入してきているが、地域に溶け込めていない家庭が多い。近隣の自治会館などの既存の建物は、予約制のサークルでの使用が多く、特定のコミュニティをもたない新しい人が、気軽に立ち寄れる場所にはなっていない。高齢者、ハンデのある方、家庭の内外で介護や支援する人、子育て世代など、密室で過ごしがちな人が息抜きする場が近くに必要だと考えている。</p> <p>街の高齢化への支援とあわせて、若い世代が地域にでてくることを歓迎し活</p>

	<p>動を応援してくれる方が増えてきている。</p> <p>いつでも迎えてくれる居場所があることで、「ひとりぼっちになりにくい・ひとりぼっちにさせない街」を目指す。</p> <p>気軽に立ち寄れるカフェがあることで孤立化・孤食化を防ぎ、誰かと一緒に食卓を囲んでご飯を食べること、おしゃべりすることが明日への活力に繋がり本来の自分らしさを取り戻すことができると考える。</p> <p>学齢期の保護者は子育てと両立できる働きやすい職場を求めている。地域で働ける場や憩える場をつくることで、新たな層が地域にでて街が活性化していくと考えている。買い物や、料理が難しい人の為に、総菜販売をしたり、街のニーズにこたえながら一緒に成長していきたい。</p> <p>若い世代や次世代の子どもたちが、地域のなかで自らに居場所・発信する場があることを感じながら育っていくことで、街への愛着がわき、担い手として主体的な活動が増えていくことも期待している。</p> <p>年齢の関係ない誕生日会を開催することで、この街でうまれて、育って、誕生日を迎えることを共に喜べるような地域にしていきたい。</p>
<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の工務店に設計、リフォームを依頼予定。設計や内装についての相談者がいる。 ・大家さんに諸経費の軽減を検討する意思がある。
<p>運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日野南連合主催の夏祭りでの飲食物の販売や、バザーなどで資金を集める事が出来る。 ・拠点の運営にあたりサービスBを申請。月々の補助金をもらう予定がある。 ・賛助会員や寄付など資金面での援助を地域に呼びかけられる人脈がある。 ・地域にワークショップの講師をできる人がいる。 ・地域で暮らす介護福祉士、保育士、栄養士、看護師、食品衛生管理者など様々なスキルをもっている人が集い、多世代交流イベントや、販売用の飲食の提供ができる。
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>多くの提案メンバーが地域で多世代交流の日野南カレー屋さん（年4回）の立ち上げから関わり3年目になった。当初は地域での催しでも有料の場所に人は来ないと懸念されたが都度盛況である。支援する人、される人の関係ではなく、世代を超えて同じ立場で時間や場所を共有することで、異世代が関わることの心地よさや楽しさを皆それぞれに感じている。高齢者の居場所作りをしたメンバーと子育て支援の居場所作りをしたいメンバーがタッグを組んだことが強み。誰もが「ちょっといこっか」と立ち寄れるみんなの憩いの場をつくりたいと考えている。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

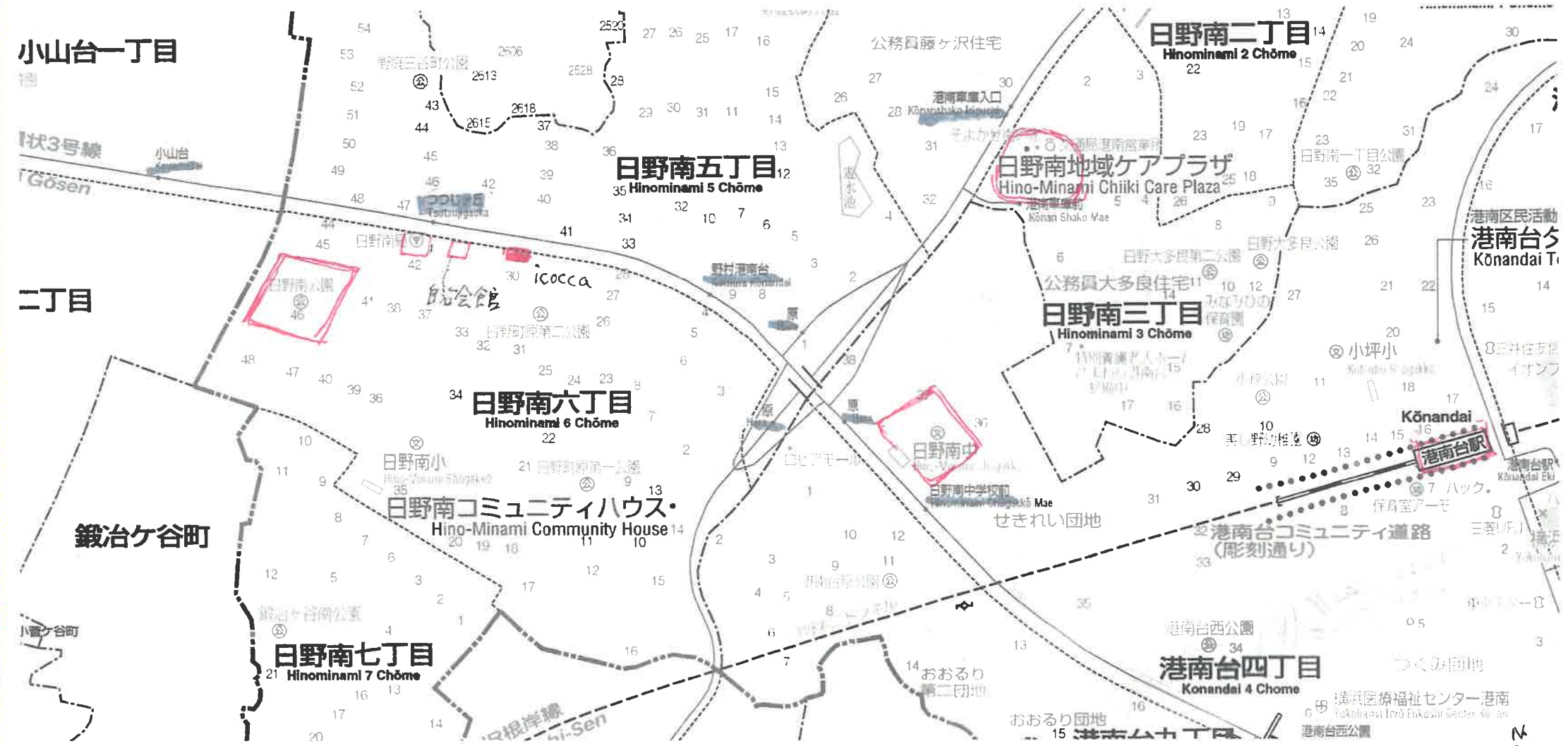
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
不動産屋『洋光』経由でオーナーに伝言。	コンテスト応募について了承済みである。家賃減額はできないが、改装費は多少援助できるとのこと。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図



□ 公共施設

→ バス停留所

つづいヶ丘バス停から徒歩2分
野村港南バス停から 3分

(JR港南台駅 徒歩20分)





裏口側より正面入り口を撮った

トイレは古く狭い。
バリアフリーに対応していない



流し台は小さく、古いため使えない



天井部分



裏口側より向かって右手側面。

6/3 内見。現状電気が通っていないためシャッターが開かず、懐中電灯と裏口からの採光のみで撮影した。

完全スケルトンでの引き渡しのため、天井、床、壁、共に手を加えなければ活用する事ができない。空き家になってから長く、キッチン、トイレとも使用できそうにない。

仲介の不動産屋より、オーナーが改装費に補助をだしてもいいと言っていたと伝言があったが、具体的な金額は答えてもらえなかった。

